

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

土合中学校



学校教育目標 日に学び さやかな土合 光る汗
目指す学校像

- 笑顔があふれる学校
- あいさつの飛び交う学校
- 歌声の響く学校



—自分に自信を持ち、自分の周りの人を大切にできる生徒の育成に努める—
～土合中は自分に自信が持てるように、あなたを応援します～

■所在地：さいたま市桜区町谷 1-19-1 ■電話：048-853-7200
■FAX：048-840-1432 ■交通：JR 南与野駅下車 徒歩 18 分

01 SDGs 実現に向けた学校環境の整備及び授業の実践



1) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学校環境の整備と授業の実践に取り組んでいます。
・黒板周辺のレイアウトを学校統一とし、全生徒が授業に集中しやすい教室環境を整備しています。

- ・生徒会の各種委員会が中心となり、下駄箱や清掃用具入れ等に写真掲示をして、整理整頓をしています。
- 2) 3年間を見通した「総合的な学習の時間」における SDGs の実現に取り組んでいます。
- ・1 学年「土合から」をテーマとして、地域の環境や文化に関心をもち、人々がどのように地域と関わっていくかを学ぶとともに、地域の活性化を図る啓発活動を実践しています。
 - ・2 学年「日本へ」をテーマとして、外部講師を招いた福祉講演会を実施し、福祉に対する理解を深め、自分の視野を広げるとともに、他者に対する思いやりの心をはぐくんでいます。
 - ・3 学年「そして、世界へ」をテーマとして、10 か国以上の外国人講師を招いた国際理解教室を実施し、国際協力や国際親善に努める心を養うとともに、他者と協力しながら生きる姿勢を身に付けています。
- 3) 「みんなのトイレ」が令和元年 11 月に完成しました。
- ・「みんなのトイレ」が福祉のまちづくり、地域に開かれた学校を推進しています。
 - ・いつでも、だれでも利用可能です。
 - ・ユニバーサルデザインとバリアフリーの視点から、車いす使用者にも配慮しています。



02 SDGs 実現に向けた様々な教育課程



1) 給食週間を実施しています。
・食に対する関心を高め、貧困や飢餓ゼロを目指しています。

- 2) ジェンダー平等の実現に向けて取り組んでいます。
- ・外部講師を招き、性的マイノリティ（ジェンダー平等）について学んでいます。学級でも性差別について話し合っています。
 - ・生徒名簿や下駄箱配置を男女混合で実施しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。



さいたま市立大久保中学校



本校は、学校教育目標「きれいな学校 輝く笑顔」-ナンバーワンスクールを目指して-のもと『JASMIN』（ジャスミン）J（授業）A（あいさつ）S（掃除）MI（身だしなみ）N（仲間）』をスローガンに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、心身ともにたくましく生きる生徒の育成を目指しています。

また、中学校区の小学校とも「大久保学園研究推進委員会」を組織し、目指す児童生徒像を共有しながら地域一体となった教育活動を実践しています。



■所在地：さいたま市桜区五関282 ■電話：048-852-3554 ■FAX：048-840-1430
■交通：京浜東北線浦和駅下車 浦和北高行 北高前下車1分 大久保行 大久保下車5分

1 学びやすい環境づくりと授業実践



- (1) ユニバーサルデザインを取り入れた教室環境
…本校では、全校統一して教室前面の掲示物などを極力減らしたり、カーテンを付けるなどしてどの生徒も授業に集中できる教室環境整備を実施しています。
- (2) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業実践
…全ての教科で授業構造化を図り、黒板に示しながら進めることで、授業の流れをわかりやすくしています。また、ICTを活用しながら学習内容の理解がより深まるようにして成果を上げています。

2 地域を理解し快適・安全に生活するために



- (1) 地域の特性による防災学習
…小学校と連携し引き取り訓練を実施している他、総合的な学習の時間において防災学習を取り入れて各自災害に対する理解を深めています。さらに、市の洪水ハザードマップで、学区に浸水被害の可能性が想定されるため、特に水害について防災アドバイザーなどの講師を招いて学習し、実践力を高めています。
- (2) 学校・地域クリーン活動の実施
…全校生徒と保護者で協力し、地域と学校に分かれてゴミ拾いや丁寧な清掃活動を行い、快適な生活環境を作っています。

3 一人ひとりを大切にしていじめを許さない取組



- (1) ありがとうポストの設置、いじめ撲滅への取り組み
…生徒の良さを認め、一人ひとりを大切にする学校を創るために、生徒会が中心となり「ありがとうポスト」を設置しています。「ありがとう」と感じた友達の行動をカードに書いてポストに入れ、生徒会の掲示板に貼り出しみんなで共有します。また、生徒全員でいじめ防止についての決意を記した「いじめ撲滅の木」や「心と心の架け橋」を作成し、いじめ撲滅に向けて取り組んでいます。
- (2) あいさつ運動の実施
…円滑なコミュニケーションは気持ちの良い「あいさつ」から始まります。学級委員会・生徒会が中心となって朝のあいさつ運動を継続して実施し、学級・学年を超えた生徒同士のコミュニケーションを図っています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立
田島中学校

学校教育目標

「きれいな学校・調和のとれたひとづくり」

① 自ら学ぶ生徒 ② 心豊かな生徒 ③ 活動力のある生徒



■所在地：さいたま市桜区田島 10-13-1 ■電話：048-864-3451
■FAX：048-836-1588 ■交通：JR武蔵野線 西浦和駅徒歩15分

01 栽培・園芸活動の充実



学校ファームでヨーロッパ野菜や果物の栽培、グリーンカーテンづくり、花壇整備等を通し、「勤労観」の育成、「食育」の推進をねらいとすることで、目標12「つくる責任つかう責任」に貢献していく。また、環境教育として自然環境について学びを深め、「生命尊重」の心の醸成を図り、目標15「陸の豊かさも守ろう」に貢献していきたいと考えています。

02 エコキャップ運動の推進



令和3年度
ワクチン
27人分達成

キャップをボトル本体と分別回収することで再資源化を促進し、地球温暖化防止に貢献することで、目標13「気候変動に具体的な対策」に貢献していきたいと考えています。また、エコキャップ運動の推進により、世界の子どもたちにワクチンを届ける運動に寄与することで、目標3「すべての人に健康と福祉を」に貢献していく。【提供量：54kg 23,220個】

03 あいさつ運動の取組



楽しい学校生活は、元気なあいさつから始まります。気持ちのよいあいさつを交わして、互いに認め合いよりよい学校生活を送れるようにすることで、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」に寄与していきたいと考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立
上大久保中学校



子どもの無限の可能性を追求する学校を目指して
【上中生のモットー】
— 共に協力して、感動を体験しよう —

学校教育目標
温かい学校 感動あふれる学校



■所在地：さいたま市桜区上大久保 861 - 1 ■電話：048-855 - 3901
■FAX：048-840 - 1431 ■交通：JR与野本町駅よりバス乗車「陣屋」より徒歩7分

01 SDGsの意識高揚を図った教育環境の整備及び授業実践



(1) 校内にSDGs17のゴールを掲示

本校では、校内のさまざまなところにSDGs関連の掲示を行い、教職員及び生徒の意識高揚を図っています。日頃生活をしている廊下等に17項目のマークを掲示することで、生徒がSDGsを自分事としてとらえることをねらいとしています。

(2) 総合的な学習の時間等でSDGsの学習の充実

本校の総合的な学習の時間では3年間を通してSDGsを中心テーマとして各学年が、防災・環境・福祉・国際理解など課題設定を行い探究的な学習を充実させています。内容としては、1人1台タブレットを活用したオリジナル防災マップの作成があります。その中で、SDGsについての学びも進め、自分の周りや、地域ではどのようなことができるのかという課題につなげ、開発目標の達成に向けた意欲を高めています。

世界には学校に通えない子供が約1.2億人もいる。学習を出来る環境をつくる事や募金を使って教科書やワークなどの勉強道具を揃える活動を応援している。



02 委員会活動等の充実



(1) 花いっぱい運動・清掃ボランティア活動の推進

整美委員会とボランティア部を中心とした組織に、PTAや地域のボランティアのご協力を頂きながら、学校を花いっぱいにする活動を行っています。また、ボランティアを希望する部活動の生徒とPTAが、学校周辺地域のごみ拾いや分別活動をしています。



(2) 学校ファームを活用した食育の推進

学校ファームは給食委員会がジャガイモ等の苗植えや収穫を行い、給食のメニューに入れるなど、食育を推進しています。また、給食完食週間では食品ロス削減にも取り組んでいます。